

吉田南幼稚園 園庭ハザードマップ(事故・災害予想箇所)

①ツリーハウス

子ども達の大好きな遊具だが登り口が2カ所。とくにネットから登り降りする際は高さが高いため転倒注意。また階段登り口も蹴上が高いため低年齢児が登り降りする際は気を付ける。

★低年齢児が登る際は子ども達を大人が見守る事が必要である。
★ネットから登り降りする際は複数で行わないよう指導を行う。

②アリーナと集会室の間通路

アリーナと集会室間の通路。1m程の幅で柵をしてあるが幼児が通ると危険なので立ち入らないよう十分注意する。

③梅林裏出口

園庭と梅林を繋ぐ裏出口。木製扉に開閉ノブと鍵をしてあるので子どもは手が届かない。大人が施錠を忘れると子ども達が梅林駐車場に出る可能性があるため扉が必ずしまっている事を確認する。

④ブランコ前通路

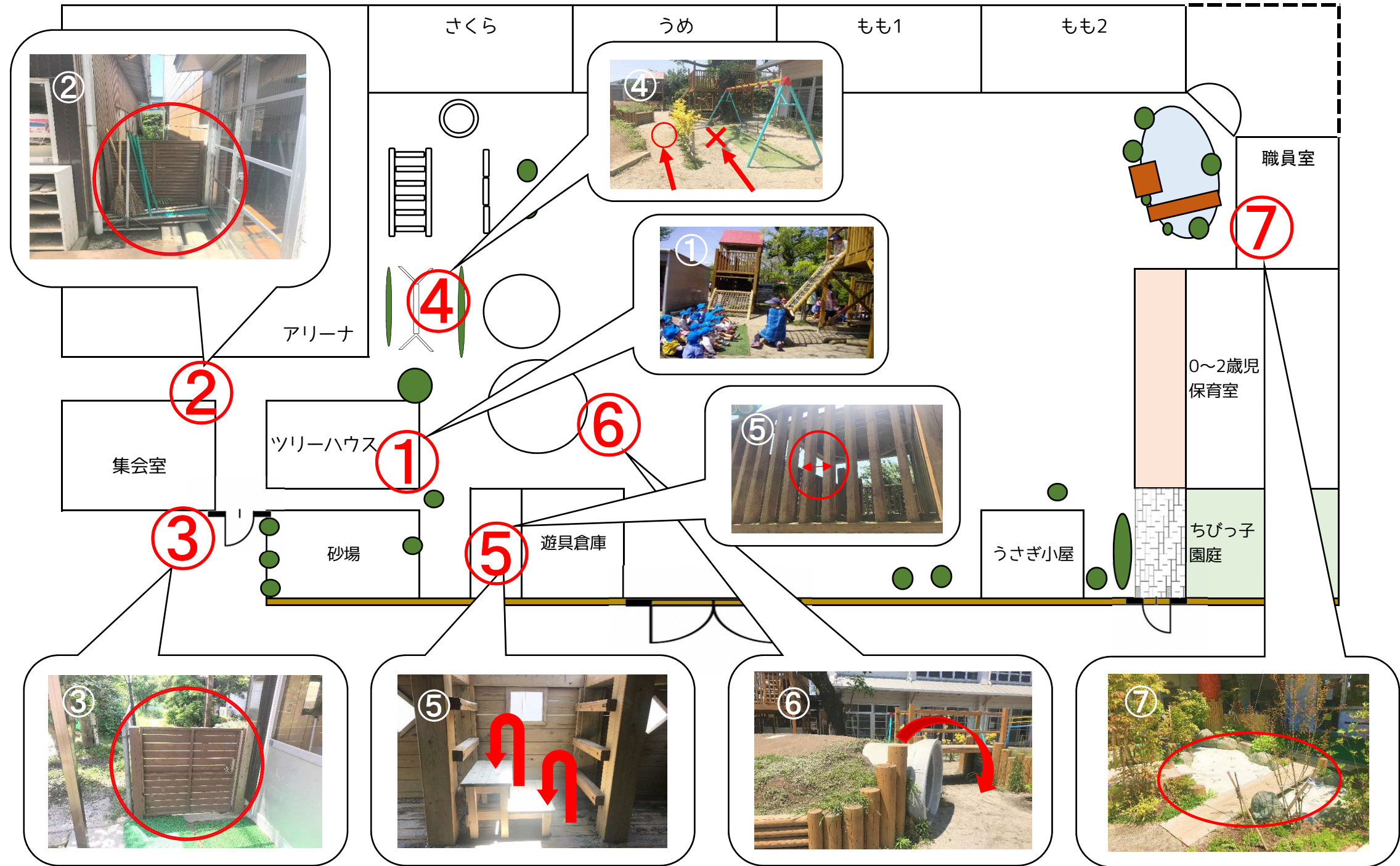
ブランコと築山間の通路。ブランコを前を通ると衝突の可能性があるため十分気を付ける。

★ブランコをしている際は前を通行しない。図にもあるように築山側の通路を通るように遊具指導を行う。

⑤赤いやねのお家

3歳児以上は問題がないが、1歳児～2歳児が登る際、垂直階段となる為ステップを活用し転倒を防ぐ。

★2階にある落下防止の柵は5歳児頃になると膝が挟まるという事例がある。見た際は注意する事、また実際に起こった場合は焦らずゆっくりと膝の関節を曲げるよう指示する。



⑥築山の巨大トンネル

トンネル内での事故はないが、築山上からトンネルの上へ飛び降りる事が無いよう注意する。

★築山トンネルから飛び降りると高く危険だけでなく、トンネル内から出てきた幼児と衝突する可能性がある。遊具指導を行うだけでなく、常に注意を欠かさない事が大切である。

⑦じゃぶじゃぶ池

水を扱う場所の為、使用の際は絶対に子ども達から目を離さないようにする。自然に溜まった水はすぐに排水する。

★滝から流水、もしくはガチャポンプで池に水を溜める。しかし、雨天時など落葉で排水栓が埋まり雨水が溜まる場合もあるので水が溜まっている際は



★正面玄関

正面玄関は保護者や訪問者の出入りが多く、道路に面している為、常に扉が閉まっているか注意する。また安全面指導を保育で行い園児に決まり事を周知すると共に送迎にきた保護者へも同様に周知を徹底する。



★ぞうさん

最近は少なくなってきたが、ぞうさんの背中に登り、そこから飛び降りる遊びについて。ぞうさんの隣には砂場が設置されており沢山の園児が遊ぶ事から危険防止の為、見かけた場合注意を行う。ただし、近場に保育者等の見守りがあり安全が確保出来ている場合は登り降りを行っても良い。